

古民家保存の 実践と課題

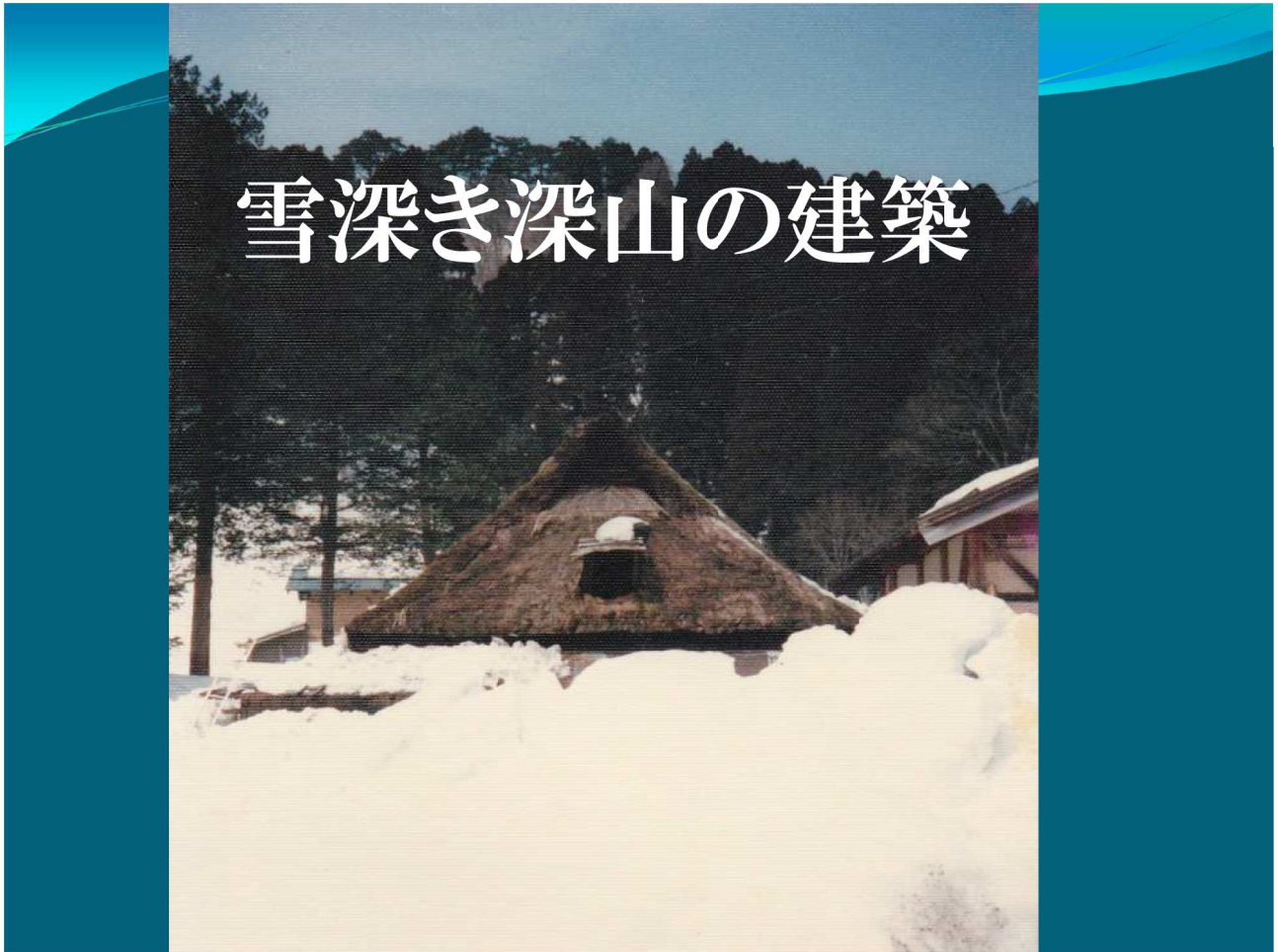
- 第6回Japaフォーラム
- ～地方創生の課題その6 実践と課題、そして提案～
- 2020年1月29日 青山学院Hicon
- 瀧下嘉弘
- NPO法人 日本古民家保存協会 代表



移築保存1964～1967 九頭竜
ダムに沈む古民家を鎌倉へ移築

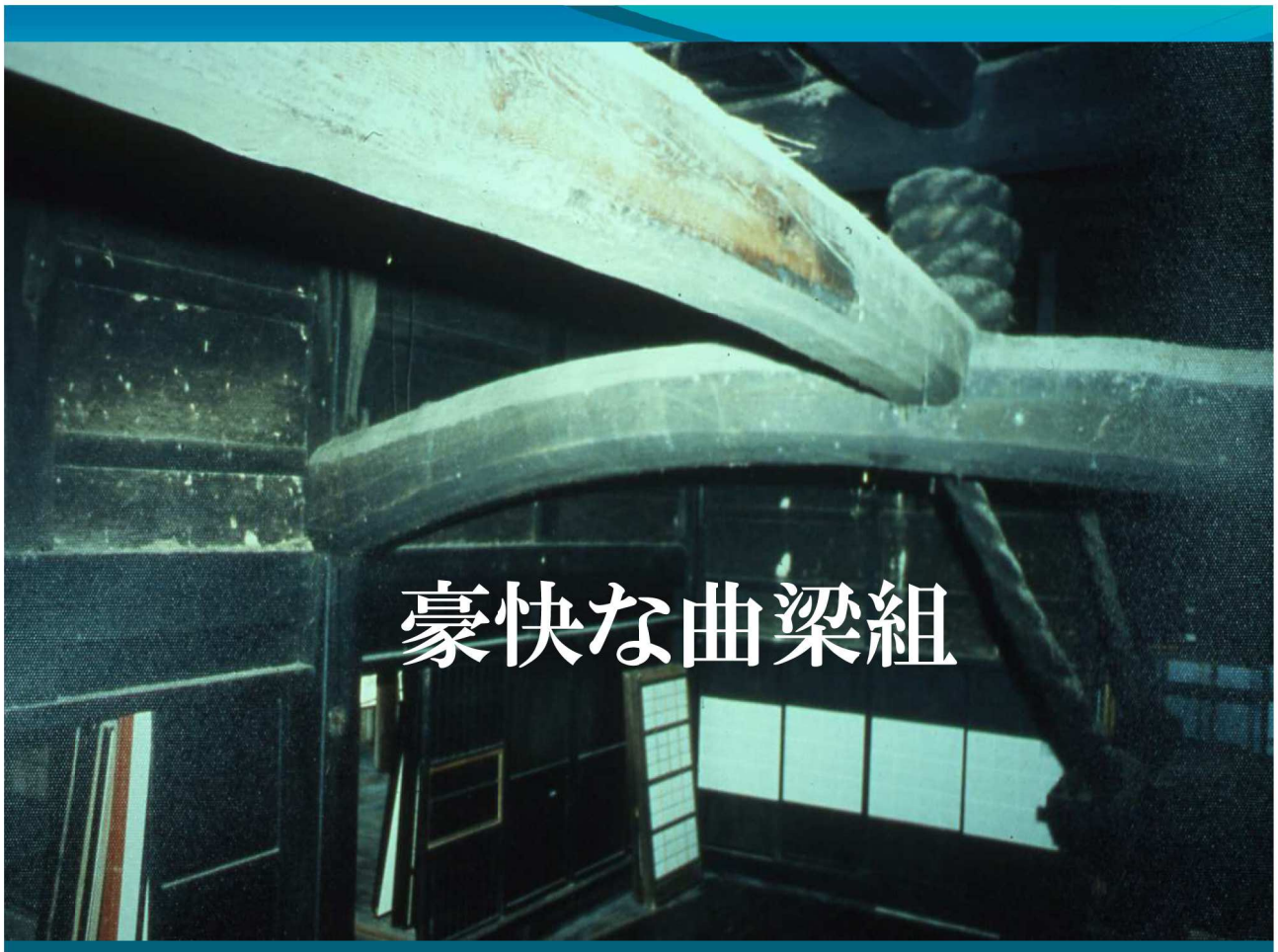


雪深き深山の建築





神と共に 質素でも幸せ
四季の循環を愛でて生を完結



豪快な曲梁組

古老は語る

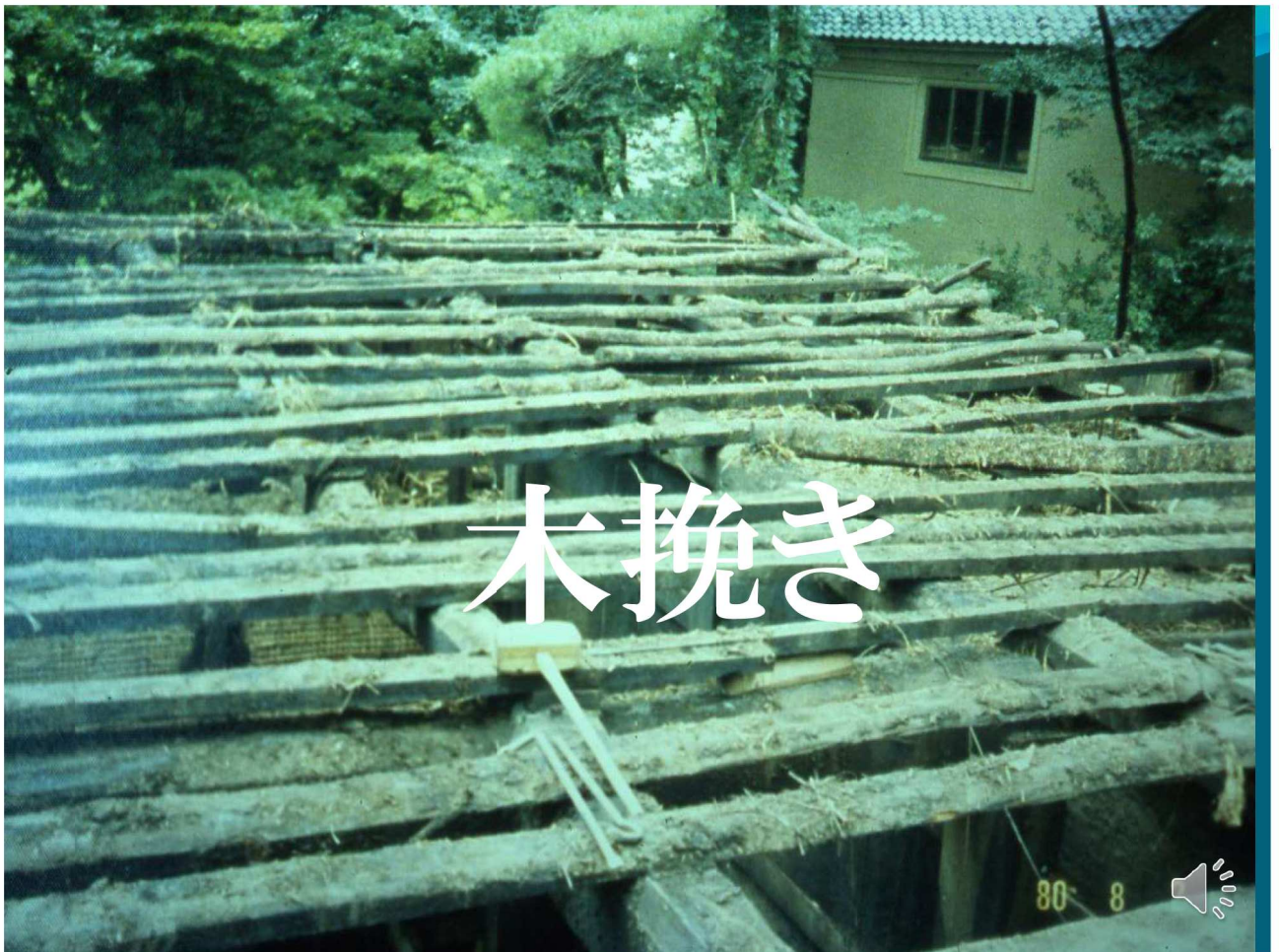


解体工事 日本の歴史をひも解く

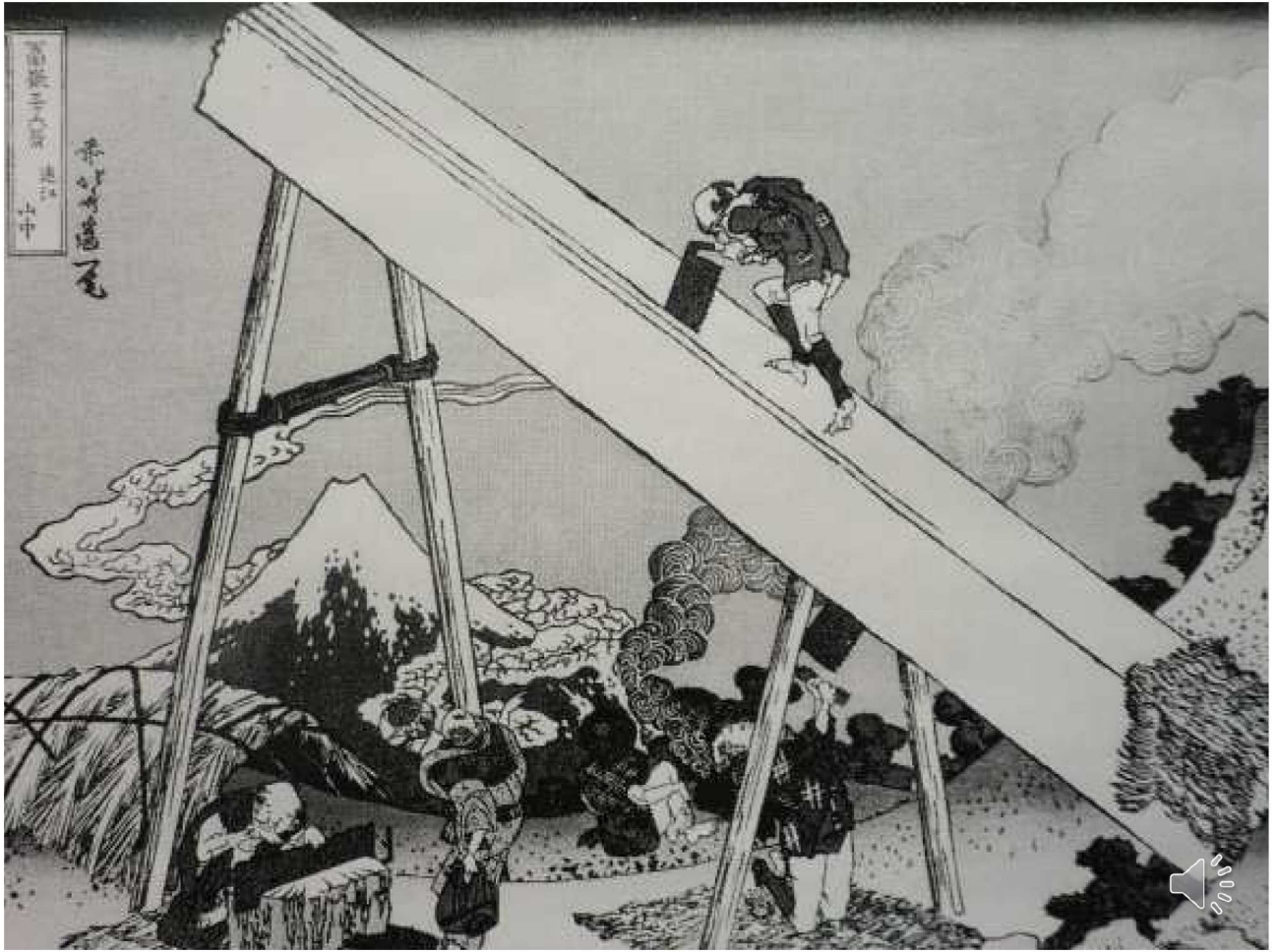




適材適所



木挽き







建舞い 東京



建てまい





小屋建ての復活



南米 TV1 ヴェノスアイズ 美術館



古民家建築は究極の 循環維持可能社会の賜物

- 限られた材料を最大限に活用し、
ものを大切にする精神で環境に
優しい建築の価値を見出す
- 4000年の癒しの空間を現在に生
かす活用法は多様である





軽井沢 別荘





現地保存

住宅



空間が仕事をする

古民家は最大の民藝





吉祥寺 住宅



露天風呂 東京 住宅



縄文小屋建て

月見窓

東京 住宅 電動開閉天窗



宗教の仕口 権威の仕口
懐古の仕口 贅沢の仕口 民の仕口

民の仕口の特徴

無作為の仕口

無我、無心、自然体、民衆、
適材適所、自然への感謝

4000年の日本人の心と魂が込められている





仕口堂



- 「ものいら仕口」展覧会
- Lixil ギャラリー 銀座
- ～2020年2月22日まで





仕口堂



課題

活用例を実体験する事

知足＝維持可能社会
を目指す事





自宅をNPO活動に提供する



古民家 セミナー







東アジア文化研究室



コンサート リハーサル



デンマーク王立アカデミー建築学科



デンマーク王立アカデミー建築学部
カンナ掛け体験



恒例文楽公演



宴席 MOMA



縄文屋根裏 いやしの空間



古民家を保存活用して来て 私が学んだ事

- 限られた資源を最大限に生かす先人の知恵と生き様を学ぶ
- 日本の木の文化は決して劣れるものでなくて誇れるものである
- 自分自身の価値観、美意識をもつ
- 「知足」という事をもう一度思い起こし循環維持可能な社会を目指す



知足 吾唯足知

